

令和7年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		考察
1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に向けていると思いますか。 (感動・感謝・郷土愛、いのちを大切に、子どもの体力向上、基本的な生活習慣など)	2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進 学校は、子どもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。	1については、保護者のほぼ9割が肯定的に捉えている。さらに生徒、教職員については、9割を超えており、昨年度より豊かな心と健やかな体を育む教育が推進できていると考えられる。 2については、保護者の11%が「わからない」(R6年度14%)と答えており、授業参観、通信等とおして発信した効果が見られた。
(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		
3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進 学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりすることの育成に、取り組んでいると思いますか。(児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイスライ(中学校)など)		3については、昨年同様、肯定的に捉えている生徒の割合が7割に満たず、低い結果となった。一方で保護者、教職員については肯定的な割合が多くなり、生徒会活動、校則等検討委員会及び課題解決の取組等について、生徒が主体的に取り組めるようになってきたことを評価できる。
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進		
4 5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 学校は、子どもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。	学校は、子どもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていると思いますか。	4については、生徒の7割以上が肯定的に捉えているが、「そう思う」が昨年度の35%から26%となったが、教職員は肯定的に捉えているが6割から8割に増え、取組としては推進できている。 5についても、肯定的に捉えている教職員が7割から8割に増え、5を意識した授業づくりができている。
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進		
6 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実 学校には、子どもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。	7 インクルーシブ教育の推進 学校では、子どもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。	6については、昨年度と比べ、保護者、教職員の肯定的な結果が増え、教職員の「そう思う」については2倍以上増えている。 7についても、6と同様の傾向となり、特別支援教育、インクルーシブ教育の推進ができていると考えられる。

(3) 最適な教育環境の整備

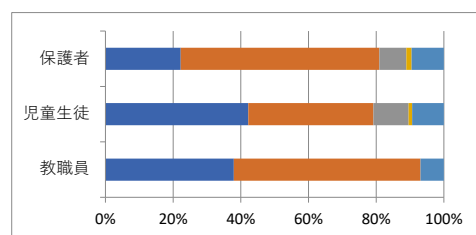
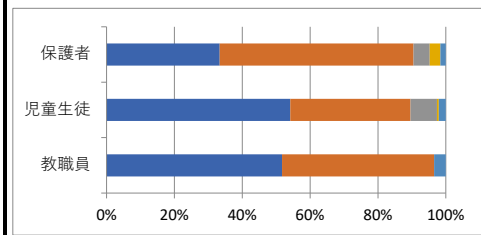
8 安全・安心な園づくりの推進

学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育（生活・交通・防災など）に取り組んでいると思いますか。

9 地域や家庭と連携した教育環境の整備

学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。

8については、9割を超える保護者、教職員がともに肯定的に捉えており、安全教育の推進ができ、取組が保護者にも伝わっている。
9については、教職員の約9割が地域や家庭との協力について肯定的に実感しているが、保護者については実感が1割ほど減少した。教育活動の取組について、通信等活用し、保護者、生徒に伝えて行く必要がある。

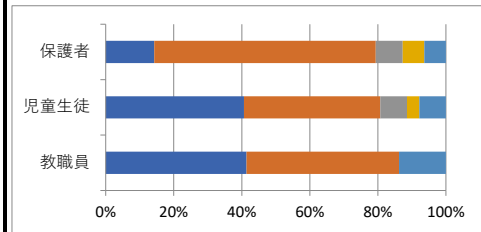


(4) こどものいのちと権利の擁護

10 こどもの最善の利益を守る環境づくり

学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。

10については、昨年度、肯定的な意見における生徒と教職員との差が20ポイント(%)あり、大きな隔たりが見られたが、今年度は5ポイント(%)と隔たりなく、ともに8割を超える高い水準となった。保護者も肯定的な意見が増え、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりを今後も進めていく。



来年度の具体的な取組について

- 学習規律・学習訓練をさらに徹底させ、基礎・基本の徹底と主体的な学びの推進により学力の向上をはかる。
- 校内研修の授業実践（大研）を年3回実施し、授業改善に向けた研修機会を充実させる。
- ICT活用や少人数指導等による個に応じた指導の充実で、一人も取りこぼさない授業を展開する。
- 地域や家庭と連携、協力した授業や行事などの教育活動を授業参観、学年懇談会、通信等にて発信していく。
- 道徳教育の充実を図り、すべての教育活動において自他を尊重する心の教育を意識した活動を進める。
- 人権教育を推進し、特に年2回の人権集会では生徒の主体性を重視した活動を継続的に展開する。
- 教育相談活動を充実させ、生徒の心の変化を見逃さず、常に寄り添う姿勢で対応する体制を構築する。
- 別室登校を希望する生徒・保護者のニーズに応え、ステップアップルームを設置・活用し、不登校生徒の教室復帰を後押しする。

小中学校関係者評価

【学校評議員】○項目1～項目11をポイント化（最大値4、最小値0）したときの平均値（n=5）
1：3.6ポイント、2：3.6ポイント、3：3.4ポイント、4：3.2ポイント、5：3.2ポイント、
6：3.8ポイント、7：3.2ポイント、8：3.4ポイント、9：3.2ポイント、10：3.4ポイント

○すべての項目について、肯定的な意見をいただいた。4の対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びを生かすような授業については、基礎・基本の徹底を行いながら、ICTを活用し進めていく。家庭、地域との連携については、さまざまな行事の機会をとおして発信する必要性について助言をいただいた。